

住吉小学校エリア(矢崎小学校、南町小学校)  
特別支援教室だより NO.8

# ひばり



令和5年12月20日  
府中市立住吉小学校  
拠点校校長 木下 和紀

2学期の「ひばり」の指導が終了し、終業式まであと少しとなりました。2学期は、人と上手にかかわるための言葉や態度を学んだり、実際にかかわって行う活動を多くしたりしました。お互いの様子がだんだん分かってきて、友達の様子を見て待ってあげたり、自分から声をかけ合ったりする様子が見られるようになってきました。グループとしての成長も感じる2学期でした。

今学期も「ひばり」の指導について、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。どうぞよい冬休みをお過ごしください。3学期もよろしくお願いいたします。

## よい冬休みをお過ごしください

### 外に出よう

親戚に会ったり、いつもはなかなか会えない友達に会ったりする人もいるでしょう。公共交通機関を使って、公共の場所に出かける人もいるでしょう。

改まった場面やたくさんの人がある場所でどのように振る舞えば良いか、人と気持ちよく過ごすためのマナーなど社会性を身に付けられるチャンスです。



### お手伝いをしよう



お手伝いには次のような良いことがあります。取り組みやすいものをやってみましょう。

- ①褒めてもらえて、自己肯定感が上がる
- ②家の人があつて、みんなが笑顔になる
- ③ご褒美がもらえ、キャリア教育の初めの一歩となる
- ④体や手をたくさん使うので、感覚や体の動きの発達が促される
- ⑤大人になったときの自立に役立つ

### 家族で遊ぼう

日々の忙しさを忘れて、ほっこりできる時間をぜひもってください。

人とのかかわりの基礎となり、体の動きも促されます。

楽しいときをもてたことが、3学期へのエネルギーになることでしょう。

カードゲームが流行っているので、いろいろなカードが手に入り

やすいです。昔ながらのかるた、ぼうずめくり、けん玉、こま、

羽根つき、凧揚げ、すごろくなどもいかがでしょうか。



## 3学期の予定

### 《3学期の指導期間》

1月12日（金）～3月14日（木）

### 《保護者会》

住吉小学校 3月18日（月） 9:30～

矢崎小学校 3月19日（火） 9:30～

南町小学校 3月21日（木） 9:30～



### 《3学期の通室変更》

2月15日（木）月曜日グループの振替指導日

木曜日グループは指導なし

2月27日（火）指導なし

2月28日（水）指導なし

## ☆11・12月の指導より☆

### 基礎的指導 「まあいいか」

2学期を通して「まあいいか」の修行に取り組んできました。「まあいいか」は気持ちを切り替えるための「切り替え言葉」です。思い通りにならなくてイライラしたりふさぎ込んだりしたとき、負けて悔しい気持ちになったとき、今やっていることをやめて次のことをしなくてはいけないときなどに使えるようになると生活が楽になります。ただし、「まあいいかしなさい。」と強制的に使うと「まあいいか」という言葉が嫌いになってしまうので注意が必要です。「ひばり」では「思い通りにならなかったけどまあいいか、次がある。」「負けてもまあいいか、楽しかったから。」「今やめてもまあいいか、また後でできるから。」などと、納得できる言葉かけを付けるようにしました。そして、まあいいかできたことを褒めました。

2学期初めに「まあいいか」の修行をするようにと伝えてきた忍者も、最終日にみんなの頑張りを認めてシールのご褒美を届けてくれました。



### 発展的指導 「非言語コミュニケーション」

コミュニケーション、情報理解の7割は非言語的情報とされています。また、気持ちの表出や読み取りには、しぐさや表情、視線、声のトーンなどが大きくかかわっています。「ひばり」では、言葉を使わないで伝え合うという学習も取り入れています。通じた気持ちよさ、息が合った気持ちよさを感じてほしいと思っています。

#### 【即興演奏♪】

二つの小さな鉄琴で、一人は伴奏となるリズム打ちを行い、もう一人はその拍を感じて、自由にメロディを鳴らします。メロディの鉄琴はどのように打っても曲になるペンタトニック音階になっています。拍が合っていると、演奏する人も聞く人も良い気持ちになります。

#### 【音渡し】

トーンチャイムという楽器を一本ずつ持ちます。まず、一人の人が決めた相手に体を向けて顔を見て一振りします。長く響く音を聞きながら、その人は次の人を決めて音を送ります。自分に来るかなというドキドキも楽しめる活動です。

#### 【おしゃべり太鼓】

二人で向き合い、それぞれコンガをたたいてその音でおしゃべりをします。自然と交互にたたくようになり、相手のリズムをまねるときがあったり、ちょっとリズムを変えて投げかけてみたりと、まるでジャズセッションのようになり、聞いている人から思わず拍手が出ることもありました。